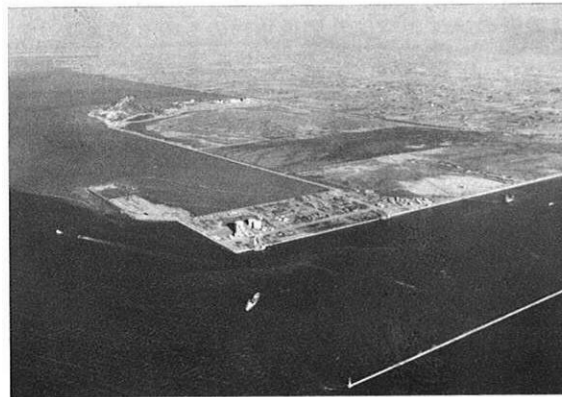
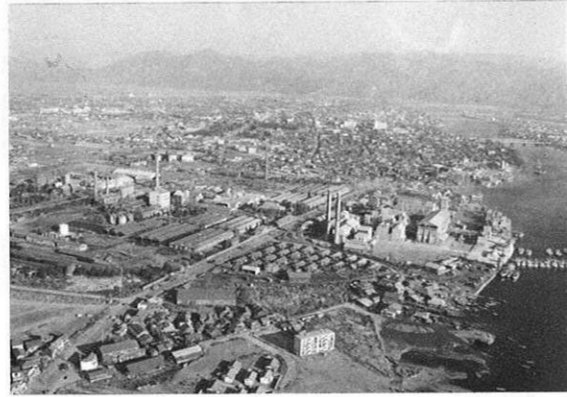


▲八代臨海工業の拠点—八代石油配分基地が青い海の中にまぶしい。



▲1万トン級の船が楽に接岸できる八代外港、工場用地造成も着々と進んでいる。



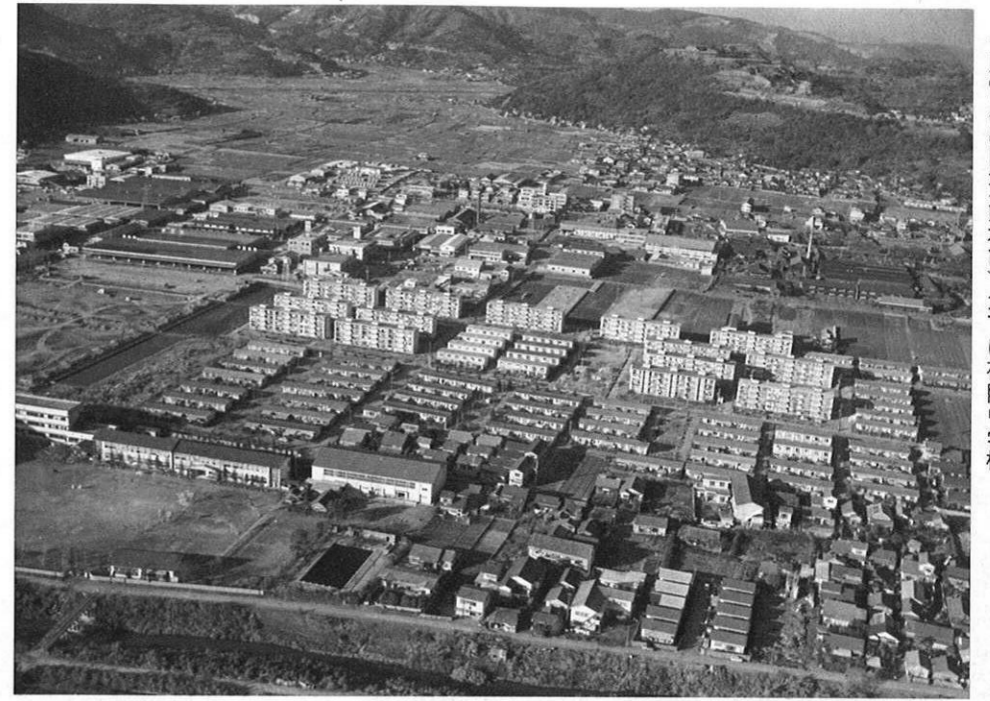
▲八代内港付近の工場群。



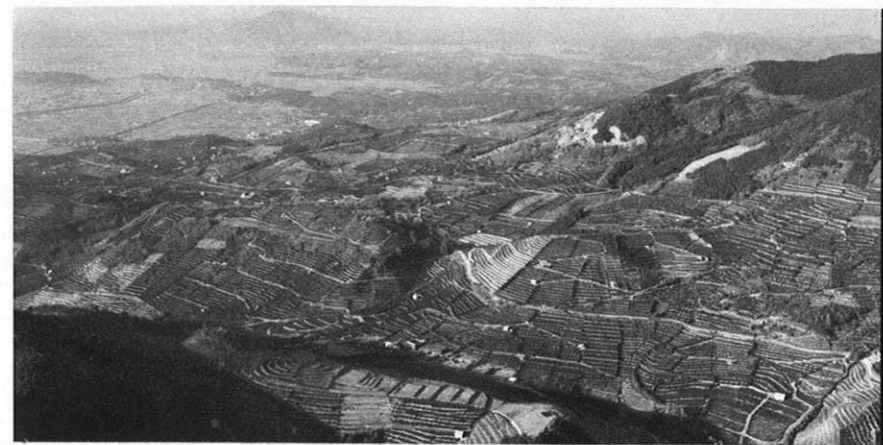
▲空から見る天草の海はいつも明るい。緑の群島を結ぶ五橋はまさしく“夢”のように美しいかけ橋である。

八代市の上空を大きく旋回すると工場の煙突が手にとるように見える。内港の船だまりには貨物船がいっぱい。潮流のひだが色別されて面白い。パノラマのような天草島は近い彼方に迫っていた。

機は南へ。有明海が南国らしい明るさをたたえている。国道三号線が一本大きく走る、沿線に八代平野のパターンが美しい。八代臨海工業地帯が海に大きく突き出て、大型タンカーの航跡がはっきり見え出した。



◀県営八島団地(熊本市) 左下は花陵中学校。



◀飽託郡河内芳野村の上空。みかんの生産団地が幾重にもひろがって見える。その向うに有明の海が白く光っている。

▶不知火海千拓を一望に—基盤締の耕地を区切って用水路と作業道路が伸びる。中央は穀物貯蔵用のカントリーエレベーター。

